

審議会等の会議結果報告書

		課所名	環境課
会議名	令和8年度 第1回諏訪市環境審議会		
開催日時	令和8年8月6日（木） 10時00分から11時30分まで		
出席者	《委員》 宮原 裕一委員、小山 雅美委員、小松 弘明委員、笠原 雅男委員、坪田 陽子委員、 古林 絵美子委員、小針 知栄美委員、名取 美奈子委員、藤森 恵吉委員、 山田 早百合委員、酒井 幸男委員、山本 一海委員、小林 裕子委員、小泉 幸善委員 《諏訪市》 金子諏訪市長、大館市民環境部長、片桐環境課長、小松環境課長補佐、志賀環境保全係主査 (傍聴者1名 報道)		
資料	次第、資料1、資料2－1、2－2		
協議議題（内容）及び会議結果（要旨）			
1 開会（進行：片桐環境課長）			
2 市長挨拶（金子諏訪市長） ・環境問題は地球規模の課題であり、身近なところから連携して取り組む必要がある。 ・諏訪市では、令和4年度から第三次諏訪市環境基本計画がスタートしており、環境保全と持続可能な社会の実現に向けた指針となっている。 ・当市では様々な環境活動に取り組んでおり、地権者や一般市民、市域を越えた広い地域からボランティアとして多くの方々に協力いただいている。 ・湖畔のごみ拾いには、毎月入れ替わり様々な方々に取り組んでいただき、景観はかなり改善されてきた。 ・本日の会議では、環境基本計画やこの審議会の役割を皆様に改めて認識をしていただくとともに、環境基本計画の進行管理を担う環境推進会議で本年度協議していただいた内容についても共有させていただく。			
3 委嘱状交付 ※出席委員全員に委嘱状を交付			
4 自己紹介 ※宮原委員より名簿順に自己紹介			
5 会長・副会長の選出 ※事務局からの腹案により会長に宮原委員、副会長に小針委員を選出【承認】			
6 説明事項（議事進行：宮原会長 説明：事務局）			

(1) 本日の会議について **資料1**

※資料1及びスクリーンに投影した補足資料を基に、環境基本計画の概要、環境審議会の任務及び本日の会議概要について説明

【質問・意見等】

なし

7 報告事項（説明：事務局）

(1) 令和8年度諏訪市環境推進会議の開催状況について **資料2-1**、**2-2**

第三次諏訪市環境基本計画の進行管理

※資料2-1、資料2-2、（推進員からの意見）及びスクリーン投影補足資料を基に第三次諏訪市環境基本計画の進行状況、特徴的な取り組み状況と推進会議で出された意見、それに対する市の回答を報告

【委員からの質問・意見等】

委員：KPI 達成率の具体的な状況について、達成率が低い要因や達成率が高い場合の評価、具体的な数値目標に対する達成状況、目標未達の理由について説明をいただきたい。

市：総合計画で定めたKPIは5年前に策定された将来目標に基づくものである。想定より進展が早く、一部の指標は達成率が100%を大きく超えている事業もある。計画上の数値は当初の想定より大きく上回っている事業や国や県の施策との不一致などが原因で目標未達の事業もある。

委員：学校における環境教育の実施状況を聞きたい。温暖化防止についての環境教育がどれくらい浸透しているのかどうか教えていただきたい。

委員：学校には児童会の委員会に環境委員会があり、花を育てる活動をしている。また、総合的な学習の時間では、3年生以上の各クラスが地域の文化などに関心を持って取り組む中で、地域を花でいっぱいにするような活動をしている。学校全体ではコミュニティ・スクールの方を中心に、周辺環境の整備にも取り組んでいる。

委員：売電価格が下がっていて、農地を転用し、太陽光パネルを設置するケースがここ3年ぐらい0件になった。住宅の太陽光パネルはどの程度普及しているのか。

市：市では、太陽光パネル本体の補助制度は県が実施しており、普及率の具体的な数値は把握していない。なお、住宅に設置された太陽光パネルに連携する蓄電池の設置費用を補助する制度を実施している。現在、申請は既に4件届いている。

委員：太陽光の普及率自体は、経済産業省のホームページに掲載されている。県では既存住宅への太陽光発電の補助を実施している。蓄電池単独あるいは蓄電池と一体となった住宅やEV自動車と組み合わせたものに対して補助金を出している。

委員：湖畔ではユスリカのような小さな虫が大量発生し網戸をくぐり抜け室内に入ってくる。環境の変化の影響かかもしれない。

委員：庁舎のエアコン設定温度について、具体的な推奨温度や実態についてどうなっているのか。

市：環境省が推奨する室内温度28℃を適切に維持するため、各課の環境（日当たり、オープンスペースの有無、使用時間など）に応じ、冷房の設定温度を「25℃～27℃」として運用している。

委員：来年度から蛍光灯の製造および輸入ができなくなる。計画性を持ってLED化を進めないといけない。

市：公共施設総合管理計画で、計画的に進めている。

委員：トライアスロン大会の趣旨は、観光促進や6市町村の環境保全という側面もある。第1回大会からごみ拾いを始めたが、諏訪湖周辺はごみがほとんどなく綺麗になっている。富士見町や茅野市の方々、諏訪東京理科大学の学生など多くの方々に参加していただいて、ごみ拾いイベントをおこなっている。6市町村全体ではなかなかこのような機会がない。今回「諏訪湖ゴミZERO キッズ水環境クリーンアップ作戦！」として、ごみ拾いと環境教育を目的にイベント開催したが、子どもたちの環境意識はすごく高い。その芽を豊かに伸ばして未来に伝えていきたい。環境省にも引き続き援助をいただき、大会とともに継続して開催していきたい。

(2) 第三次諏訪市環境基本計画の中間改訂について（説明：事務局）

第三次諏訪市環境基本計画の中間改定時期を1年間延期し、令和10年3月とすることを提案。延期の理由として、上位計画である第六次諏訪市総合計画の改定時期が1年間延長されたこと、環境基本計画に内包される地球温暖化対策実行計画の改定（令和6年3月）が計画全体に与える影響、計画の効率化と環境課題対応力強化のための時期調整が必要であることを説明。【承認】

8 その他

9 閉会